

1年生が語る! 附属中Life!

入学から三か月。すっかり附属中生らしい表情に。笑顔あふれるその裏にはたくさんの工夫と努力あり。初々しさも残る1年生の生活をのぞいてみよう!



学校法人 小林学園 本庄東高等学校附属中学校

きりぐるま

第49号



Q お気に入りの給食のメニューを教えてください。
 ミネストローネ等のスープ類です。僕は野菜が好きなので、色々な野菜が入っているスープがお気に入りです。
 (田村晃太郎)

Q 給食中はどうな話をしていますか?
 兄弟の話など、家族のことをよく話します。友達のこととも知ることができ、楽しい時間になっています。
 (植田武)

Q 小テストの勉強方法を教えてください。
 登校してからの三十分間を利用して、自分でくり返しテストをして対策しています。
 (小菅美優奈)

Q 初めての定期テストはどうでしたか?
 不安もありましたが、勉強を積み重ねていくことで自信ができました。また、家族の応援がとても力になりました。
 (寺山千智)

Q 附属中の授業は、小学校とどう違いますか?
 一年生で習う内容に、二、三年生の内容を交えて授業が進んでいきます。予習にもなるのでとても勉強になります。
 (徳永小町)

Q 授業でデイスカッションするなど、毎回とても楽しいです。授業終わりや補習で、わからない所を丁寧にサポートしてくれる所も小学校との違いです。
 (平野湧介)

Q 勉強と部活の両立はできていますか?
 私は書道部に入っています。宿題が多い日は、バスの待ち時間を使って勉強しています。
 (小材友花)

Q 先輩とは仲良くできていますか?
 私は卓球部に入っています。先輩は、僕に合わせてボールを出してくれたり、道具の準備を手伝ってくれたりするのでとても優しいです。
 (吉野輝幸)

Q 附属中ではどんな宿題がですか?
 各教科で、問題集やプリントが宿題になります。その日の授業の復習が中心なので、習ったことがしっかりと頭に入ります。
 (清水美礼)

Q 国語では、漢字検定に向けて「漢字トレーニンング」という宿題が出ます。努力を重ねた結果、合格することができました。量が大きいときもありましたが、計画的に進めれば大丈夫です。
 (大川康介)

茶道特別体験【三年生】

五月二十七日、三年生の茶道特別体験を行なった。礼儀作法を学ぶとともに、相手への感謝の心について学ぶよい機会となった。

今回の茶道体験では、自分で作った茶器でお茶をたてるということも、とても楽しみにしていました。実際に茶をたててみると、前後に茶せんを細かく動かす作業が想像よりも難しく、思うように手が動かないことに驚きました。苦労して作ったお茶は格別で、とてもおいしかったです。それまでどこか不恰好に見えていた茶碗は「和」の雰囲気(関口百合菜)

普段の生活のなかで、お茶をたてる機会がなかなか無いので、私にとって大変貴重な経験となりました。このような体験の場を設けてもらったことにとても感謝しています。そして、茶道だけではなく、数多くの日本の伝統文化を大切に、その素晴らしさを私たちが伝えていきたいと思えます。

中里研修【一年生】

四月二日、二日の二日間、一年生は初めての校外研修を中里で迎えた。研修を通じて何を感じたのか生徒の声を聞いた。

私はたくみの里で和紙の家に行きました。そこで驚いたことは、和紙の保存状態が良ければ千年以上もつということ。実際に体験すると、とても難しかったです。除雪ステーションでは、群馬や埼玉ではあまり見ない種類の除雪車があり、驚きました。運転席に乗るとたくさんのボタンやレバーがあり、実際に動いている姿は迫力がありました。人の命を守る除雪車を自分もいつか運転してみたいと思いました。
 (石坂 茉紘)

ぼくが中里研修で学んだ一番大切なことは協力することです。ふと一人で準備すると大変だけれど三人でするとあっというまに完成します。友達とお互いに支え合える関係が幸せだと感じています。そして、自己紹介の時間には、みんな静かに他人の発表を聞き、うなずきや「オー」など、関心を持った態度や前向きな姿勢を見せていました。この仲間となら暗い空気が明るくできると思います。
 (森島 瑠生)

古典芸能鑑賞【二年生】

七月五日に国立近代美術館見学と、歌舞伎鑑賞を行なった。芸術作品の鑑賞の仕方や、日本の伝統文化への理解が深まる研修となった。

私は、今回の研修で初めて歌舞伎を鑑賞しました。歌舞伎の舞台は、様々な人の力で成り立っています。情景に合わせて演奏をする竹本と呼ばれる人たちは、独特のテンポや音で舞台を盛り上げます。それに合わせて演じる役者さんは、とても迫力があり、舞台の世界に自然と引き込まれていきました。私は今まで、日本文化を意識して生活するということはありませんでしたが、連綿と受け継がれてきた歌舞伎の世界に触れ、これからの生活がより豊かになると確信しました。
 (篠崎 桐子)

国立近代美術館には、個性的な作品がたくさんありました。グループごとに行なったギャラリートークでは、一作品に二十分もの時間を使い、作品に対する意見や感想を出し合いました。そしてその意見をもとに、更に作品を細かく鑑賞していききました。一見理解するのが難しい個性的な作品も、一人ひとりの違う見方や解釈があり、一人で美術館に行くよりも何倍も楽しみながら鑑賞できました。
 (川田 真大)

イベント案内

オープンスクール 小学生と保護者の方向け 7月24日(日) 9:30~12:00	学校説明会 小学生と保護者の方向け 第1回 8月21日(日) 第2回 9月25日(日) 9:30~12:00
入試問題分析会 & 解説授業 6年生と保護者の方向け 8月6日(土) 9:30~12:30	自由授業参観日 保護者の方向け 9月16日(金) 9:30~13:00